

結果報告 2-①

2210113 令和4年度大田静間道路静間地区法面工事



けんせつ小町パトロール隊として、第2回目のパトロールを行いました。新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行の勢力が衰えないので、今回も安全衛生面に加えて感染症防止対策をどのように実施されているか確認しました。前回同様、現場も現場事務所も感染症対策が万全です。この現場ではICT技術を駆使されており、VRシステムも導入されていました。VRシステムを利用して3Dモデル化された施工現場を歩いたり、重機モデルを動かしたりできるようになっていました。実際に私たちも体験しましたが、現場に行かなくても現場の臨場感や高低感も体験できるので、危険箇所を学ぶことができました。今後安全対策や教育・地域貢献などで役立てていきたいとの事です。【工事進捗率:69%】

工事概要の説明



現場事務所



作業員休憩所



VRシステムを導入



ゲーム感覚で現場内を移動したり、指定した重機モデルを部分的に動かしたりすることもできます。



【指摘事項】

トイレ前にある手洗い場まわりのシンクの清掃や、洗剤等の整理整頓をお願いします。



【指摘事項】

吸い殻の処分をお願いします。



【指摘事項】

レーキの爪の部分は下に向けて保管をお願いします。



【指摘事項】

不燃ごみの分別もできると良いと思います。



前回指摘事項だった階段の段鼻ですが、目立つ色で縁取りされ踏み外し防止対策が施されていました。



【指摘事項】 階段下に円盤状の資材が置かれていましたが、すぐに使用されない場合は、資材置き場または倉庫で保管をお願いします。コンテナ付近の資材置き場に、囲いを設けて資材置き場の明示があると良いと思います。

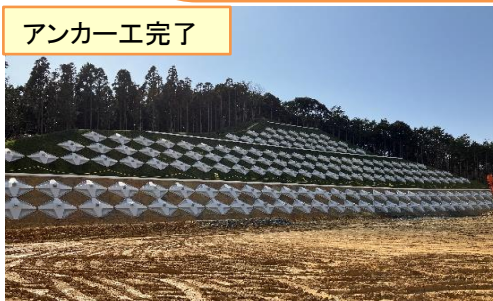
指摘事項



〈現場および現場周辺の様子〉



現在、掘削量35,560m³のうち23,000m³の掘削が完了しており、法面のアンカー工は施工を完了しておられました。前回打設されていた小段が完成しており、その下に法面が整形されていることで前回に比べて地盤が大きく下がっていることに気が付きました。アンカー工は遠くで見るとまっすぐに並んでいるように感じましたが、近くで確認すると縦断勾配に合わせて変化していることに気が付きました。多くのダンプを使い土砂を搬出されていますが、雨が降った後の地面はぬかるんでおり、泥を引っ張って道路が汚れてしまうので、備え付けのタイヤ洗浄機だけでなく高圧洗浄機を使い手作業でタイヤを洗浄されていました。寒い中、泥や水が跳ね返りながらタイヤ洗浄の作業をされており、このひと手間で道路をキレイに維持しておられることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。



アンカー工完了



掘削工

前回と同様、安全施設は第三者が見ても分かるように明示されていました。強風のため旗などは養生されていました。



休憩所はキレイに保たれていました。



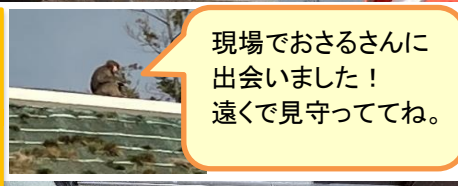
デジタルサイネージ



現場では大画面のデジタルサイネージを導入されていました。ネット検索もできるため、工事関連の情報や天気予報などその場で知りたい情報をリアルタイムで映し出すことができます。動画も活用しながら情報伝達がスムーズに行われるので、今まで以上に安全意識の向上につながっていると思います。

【指摘事項】

作業員休憩所(現場・事務所1階)の出入口にある泥落としマットが、固定されていると良いと思います。(つまづき転倒防止)



現場でおさるさんに出会いました！
遠くで見守ってね。



前回指摘していた箇所が改善されていたので、より快適な作業環境が整えられていました。今後も厳しい寒さが続くうえ、新型コロナウイルスやインフルエンザが流行しますので、体調管理にも十分気を配り無事故・無災害で竣工を迎えられることを心より願っております。皆様ありがとうございました。ご安全に！！